



ふるさとの学び舎にお別れ

9月定例会・第3回臨時会(8月)

定例会

議案要旨 P 2
議案審議 P 3 ~ P 4
採決状況 P 5
一般質問 P 6 ~ P 12

委員会のうごき P 13 ~ P 15
議長就任あいさつ・議会活動報告	... P 16
政務活動費支出状況 P 17
町民の声 P 18

令和3年度決算

総額493億円の成果を認定!

■ 令和3年度財政収支の状況 ■

一般会計と特別会計を合わせた決算額は歳入総額493億3974万9千円（前年比116.6%）、歳出総額475億5817万6千円（前年比122.2%）で、形式収支は17億8157万3千円の黒字決算でした。

各会計の形式収支は、一般会計では14億407万6千円、特別会計である文化及びスポーツ振興育成事業会計ほか8会計の合計は3億7749万7千円となり、各会計とも黒字決算です。

また、一般会計では形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支6億2805万円から前年度実質収支を差し引いた額に、黒字要素である財政調整基金積立金を加えて、積立金取崩し額を差し引いた実質単年度収支は6億5737万4千円の黒字決算です。

一方、特別会計全体では実質収支3億7083万7千円から前年度実質収支を差し引いた単年度収支は2億4370万5千円の赤字となりました。

令和3年度一般会計・特別会計歳入歳出決算

(単位：千円)

区 分		一般会計	特別会計	合 計
歳入総額	①	41,645,290	7,694,459	49,339,749
歳出総額	②	40,241,214	7,316,962	47,558,176
歳入歳出差引額(①-②)	③	1,404,076	377,497	1,781,573
翌年度へ繰り越すべき財源	継続費逐次繰越額	55,767	0	55,767
	繰越明許費繰越額	367,083	0	367,083
	事故繰越し繰越額	353,176	6,660	359,836
	計	776,026	6,660	782,686
実質収支(③-④)	⑤	628,050	370,837	998,887
前年度実質収支	⑥	201,267	614,542	815,809
単年度収支(⑤-⑥)	⑦	426,783	△243,705	183,078
積立金(財政調整基金)	⑧	230,591		
繰上償還金	⑨	0		
積立金取崩し額(財政調整基金)	⑩	0		
実質単年度収支(⑦+⑧+⑨-⑩)	⑪	657,374		

要旨

9月定例会は、9月6日から13日までの8日間を会期として開催しました。

町長からは令和3年度決算の認定、条例の改正、契約の締結・変更、令和4年度補正予算、人事案件、報告案件など21件の議案が提出されました。また、議会から4件の議案を提出し、これらについて審議を行いました。

議案の主な質疑内容は3～4ページ、審議結果(採決状況)は5ページに掲載のとおりです。

【主な議案等の内容】

- 浪江町地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部改正については、固定資産税の課税免除または不均一課税の適用対象期間について、令和4年3月31日から令和6年3月31日まで2年間延長とし、対象となる固定資産の取得期限について、認定を受けてから2年から3年間に1年間延長するものです。
- 工事請負契約の締結のうち、**橋梁補修工事(城西橋)【6710万円】**は、国道114号大字権現堂地内から旧サンプラザの西側を通り、大字西台地内に通じる町道上川原反町線上の請戸川に架かる橋梁の舗装の打替え工、橋面防水工、伸縮装置取替え工を行うものです。**文化財収蔵庫新築工事【1億9580万円】**は、小野田字下原地内に古文書等及び埋蔵文化財調査の収蔵品、古い民具・農具、閉校となった学校の品などを保管する施設を新築するものです。
- 補正予算のうち、**一般会計補正予算**は、歳入歳出それぞれ21億7019万円増額するもので、これにより予算総額は351億5138万8千円となります。

主な質疑内容を報告します。

(囲み数字は議案番号)

決算の認定

【1】決算の認定について

【一般会計】

質問(山崎)

①津島保育所の被災調査について、建物自体は被害がなく使えるとのことだが、どのように考えているか。
②定住促進事業について、移住定住が図られるような事業展開をしていたきたいが、どのように考えているか伺います。

教育長

①現在、町立学校校舎等検討委員会、津島地区小学校、中学校、そして保育所についての施設の検討委員会を進めており、答申をまとめています。今後、答申を取りまとめ、また活用についてご提示していきたいと思っております。
町長 ②交流人口の拡大や、そして移住者等々としつかりと

コミュニケーションを図るような、そういう場を増やしてまいりたいと考えており、浪江町の復興の中で今後様々な施策が進んでいく上で、移住者は非常に必要不可欠でありますので、町長としてもしっかりと進めてまいりたいと考えております。

質問(紺野(榮))

賠償支援事業について、ADRの請求できる期間は限定はあるのか伺います。

総務課長

補佐現時点で、ADRについては、特に期限等設けていないと、そのように認識しています。

(賛成全員で認定)

契約の締結

【57】工事請負契約の締結について(文化財収蔵庫新築工事)

【1億9580万円】

小野田字下原地区に古文書等及び埋蔵文化財調査の収蔵品、古い民具・農具、閉校となった学校の品などを保管する施設を新築するものです。

質問(小澤)

新築工事にあたり、延べ面積が591・62㎡であるが、この容量で今後間に合うのか。各地区に芸能保存会等を使っている用具等があるが、その保管についてはこちらに保管するのはいかがでしょうか。

教育次長

容量について、昨年度、設計する前に調査を行っており、震災前からある埋蔵文化財の数量及び現在進めている埋蔵文化財調査の数量の見通しを立て、今回の建物の容量を決め、十分対応できると考えております。また、各地区の芸能保存会の部分については、お預かりするのは可能ですが、練習する際の取り出しが、頻繁にはできない部分もありますので、各地区に整備しているコミュニティセンターも活用いただながら、ご相談いただければと思います。

(賛成全員で可決)

契約の変更

【58】工事請負契約の変更について(室原地区防災拠点造成工事)

【491万5千9百円の減】

工事を施工する中で、土工、防災工、農業用水工の変更が必要になったため変更するものです。

質問(佐々木(茂))

同じことが何度も何度も繰り返されておき、造成に対して地盤及び地質調査が甘いのでは。

建設課長

建物を建てる際には、支持地盤の想定もきちんと調査をして、基礎も対応しております。地質調査が甘いのではないのかとの指摘でありますので、今後、調査をかける場合については、きちんと業者と協議をして対応させていただきま

(賛成全員で可決)

【59】工事請負契約の変更について(麦ノ沢ため池環境保全整備工事)

【3072万4千1百円の増】

第1ため池においては、対策面積、掘削深の変更及び施工実績による第1・第2ため池の凝集剤の追加及び工期の延長をするものです。

質問(高野)

なぜ追加掘削30cmから50cmに変更になったのか。なぜ最初から50cmまで計測はしなかったのか。

農林水産課長

設計マニュアルに基づいて調査を行っております。

垂直方向の深さも確認しておりますけれども、実際、工事を発注した後、施工前に、現状に応じて、追加の調査を実施しているところでは、それによって、設計よりも深い場所に8000ベクレル以上の汚染を確認したため、さらに周辺も確認して施工範囲を確定して、変更を行ったところでは、

設計するための事前調査は代表ポイント、発注後は請負業者にて施工前調査において現状に合わせて追加の調査を行った結果によって、今回の変更になったものです。

(賛成全員で可決)

補正予算

〔1〕令和4年度一般会計補正予算(第2号)

質問(山崎) 物価高騰対応生活困窮世帯緊急補助金の詳細について、補助額も含めて伺います。また、積算についてはどのようになっているのか伺います。

介護福祉課長 高齢者世帯、障害者世帯、ひとり親世帯で住民税が非課税の世帯に対して、1世帯当たり7000円を給付するものです。給付世帯は、2000世帯を見込んでおります。また、補助金の7000円の根拠については、県の補助率が2分の1で、上限が3500円となっていることから、その上限額に合わせて町でも3500円を給付し、合わせて1世帯当たり7000円としたものです。

質問(渡邊) 営農再開支援事業について、①すぐ帰還しない農家の農地を管理耕作する方々への支援事業補助金、②除染後農地の地力回復支援事業補助金について、これから避難指

示解除される地域なのか、それとも今まで避難指示解除した地域も該当するのか伺います。

農林水産課長 ①すぐに帰還しない農家の農地を管理耕作する旨の支援事業補助金については、今まで保全作業、または特任保全作業を行っておりますが、こちらを、所有者が帰還するまで、担い手が新たに作物を耕作するという面積が増えたので、そちらの掛かり増し料金を計上してございます。②除染後農地の地力回復支援事業補助金については、除染によって地力が低下している農地に対して、堆肥などを供給して、耕作に準備するということで、地力回復、堆肥の散布代、堆肥代等について計上しております。

(賛成全員で可決)

諮問案件

〔1〕人権擁護委員に適任

任期満了に伴い次の方を適任としました。

田村 栄子氏(再任)

人事案件

○特別功労者の決定について

次の方々を決定することに同意しました。

藤本 忠男氏(両竹)

君島 勝見氏(室原)

○教育委員会委員の任命について

次の方を任命することに同意しました。

熊田 伸一氏(再任)

陳情

〔1〕子どものために配置基準引き上げによる保育士増員を

求める意見書の提出を求め陳情書

審査は文教・厚生常任委員会に付託し、全会一致で採択となり、意見書を可決後、関係機関に提出しました。

○意見書の提出先

内閣総理大臣・財務大臣・厚

生労働大臣・文部科学大臣・内閣府特命担当大臣(少子化対策)・衆議院議長・参議院議長

○意見書の主な内容

子どものために配置基準引き上げによる保育士増員をすすめることを求めるもの。

委員会報告

浪江町議会議員定数調査特別委員会調査報告

委員長 半谷 正夫
副委員長 小澤 英之
委員 吉田 邦弘・佐々木 茂
高野 武・松田 孝司
山崎 博文・紺野 榮重

令和3年6月定例会において、「浪江町議会議員定数調査特別委員会設置に関する決議」が可決され、適正な議員定数に関する調査・研究についてアンケート調査を実施し、13回の委員会を開催し、審議を重ねてきました。

○委員会の結論

「浪江町議会の議員定数は12人が妥当である」

住民アンケートの調査結果を踏まえ、各委員に浪江町議会議員定数は何人であることが妥当かの意見を募ったところ、8人中7人が「12人」、1人が「15人」となりました。そこで、「12人が妥当」という案にて採択を行ったところ、賛成多数により「浪江町議会の議員定数は12人が妥当である」とする意見を特別委員会の結論とすることに決定しました。

今回、特別委員会は議員定数を「12人」とすることが妥当との結論をまとめましたが、その結論に至った理由としては、住民アンケート実施における町民の意見の反映によるものが大きく、さらに、前回選挙の状況も踏まえ、今後の浪江町の人口を考慮すると、議員の確保も困難であることも理由の一つに挙げられます。

今後は、本報告書を基に、浪江町議会内で具体的施策の実行に向けた取り組みされることを強く要望し報告とします。

令和4年9月定例会の採決状況 (9月13日採決)

議案番号	議案 ○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席	議案 結果	議	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	関連ページ
			武藤晴男	紺野豊	吉田邦弘	佐々木恵寿	小澤英之	半谷正天	紺野則夫	佐々木茂	山本幸一郎	高野武	渡邊泰彦	松田孝司	平本佳司	佐々木勇治	山崎博文	紺野榮重	
認定第1号	決算の認定について	認定	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2・3
認定第2号	浪江町水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第54号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第55号	浪江町地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部改正について	可決	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
議案第56号	工事請負契約の締結について (橋梁補修工事(城西橋))	可決	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
議案第57号	工事請負契約の締結について (文化財収蔵庫新築工事)	可決	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2・3
議案第58号	工事請負契約の変更について (室原地区防災拠点造成工事)	可決	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
議案第59号	工事請負契約の変更について (麦ノ沢ため池環境保全整備工事)	可決	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
議案第60号	工事請負契約の変更について (八竜内ため池環境保全整備工事)	可決	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第61号	令和4年度浪江町一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2・3・4
議案第62号	令和4年度浪江町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第63号	令和4年度浪江町国民健康保険直営診療施設事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第64号	令和4年度浪江町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第65号	令和4年度浪江町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第66号	令和4年度浪江町水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
同意第4号	特別功労者の決定について	同意	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
同意第5号	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
報告第6号	浪江町一般会計継続費精算報告書について	報告	-	-	欠	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告第7号	一般財団法人福島なみえ勤労福祉事業団の経営状況報告について	報告	-	-	欠	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告第8号	一般社団法人まちづくりなみえの経営状況報告について	報告	-	-	欠	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	浪江町議会議員定数調査特別委員会報告	報告	-	-	欠	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
陳情第1号	子どものために配置基準引き上げによる保育士増員を求める意見書の提出を求める陳情書	採択	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
発議第4号	子どものために配置基準引き上げによる保育士増員を求める意見書(案)	可決	○	○	欠	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4
	委員会の閉会中の継続審査又は調査の申し出について	決定	-	-	欠	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

令和4年第3回臨時会の採決状況 (8月1日採決)

議案番号	議案 ○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席	議案 結果	議	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	関連ページ
			武藤晴男	紺野豊	吉田邦弘	佐々木恵寿	小澤英之	半谷正天	紺野則夫	佐々木茂	山本幸一郎	高野武	渡邊泰彦	松田孝司	平本佳司	佐々木勇治	山崎博文	紺野榮重	
議案第53号	工事請負契約の締結について (浪江町公共下水道管渠布設工事(高瀬処理区))	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-



※佐々木恵寿議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わるできません。
 ※閉会中の継続審査は採決を行いません。
 ※定例会・臨時会の会議結果は町ホームページでもご覧になれます。



6 議員が質問

■紺野 榮重 (7ページ)

- (1) 町長就任の件
- (2) 駅前開発事業の件
- (3) 福島国際研究教育機構の件
- (4) 大柿ダム活用水力発電所の件
- (5) 少子高齢化の件
- (6) 農業の件

■佐々木 勇治 (8ページ)

- (1) 施政方針について
- (2) 放射線について
- (3) 生活支援について
- (4) 幾世橋住宅団地について
- (5) 有害鳥獣捕獲隊について
- (6) 東京電力賠償金について

■佐々木 茂 (9ページ)

- (1) 屋菅根畑川水力発電所について
- (2) 農地利用について
- (3) 環境ホルモン及び農薬について
- (4) 浪江駅橋上化について
- (5) 猿害について

■小澤 英之 (10ページ)

- (1) 選挙について
- (2) 特定復興再生拠点区域における町道の整備（維持・管理）について
- (3) 花きの産地化に向けた取り組みについて
- (4) 企業誘致の推進について

■渡邊 泰彦 (11ページ)

- (1) 浪江町復興計画（第3次）について
- (2) 浪江町復興牧場について
- (3) 産業団地について
- (4) 浪江駅周辺整備計画について
- (5) 福島国際研究教育機構について

■武藤 晴男 (12ページ)

- (1) 帰還困難区域を対象とした町の説明会・懇談会について
- (2) 特定復興再生拠点区域の町の復興・再生について
- (3) 特定復興再生拠点区域外の町の復興・再生について
- (4) 原発賠償基準（中間指針）見直しについて

このページには、質問した議員の質問事項が掲載されています。議会だよりに掲載する一般質問の内容は、紙面の構成上、1議員の質問・答弁を合わせて1000文字程度に要約してまいりますので、ご了承ください。

町政と問答



一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め、政治的姿勢を明らかにするものです。そのことにより、現行政策の変更、是正あるいは新規政策の採用などの効果があります。





● 紺野 榮重 議員 ●

Q 今回の町長選挙を振り返るとどのような選挙でしたか

A 18日間という長い選挙でしたが、町民の多くの意見を伺うことができ充実した選挙期間でした

双葉郡全体で公共施設を計画しては

質問 「双葉郡の広域的な連携で復興を進める」とはどのようなことか伺います。

町長 医療、そして施設、特に復興についても連携が求められると思います。

質問 「医療福祉の充実、人口減少対策を行う」とは具体的にどのような事か伺います。

町長 医療については診療科目を増やす。福祉については7月からデイサービスが開始されています。人口減少対策については、駅前の一団地構想、企業誘致、そして浪江町に住んでいただくよう復興施策をすすめます。

質問 「行政、企業、町民の力で復興を進める」とは具体的にどのようなことか伺います。

町長 国や県の復興政策の投資、企業誘致をふまえた町民への投資、そして町民移住者が浪江町に住んでいただける環境を整えて行く考えです。

駅周辺整備事業がこれらの浪江町の負担にならないか

質問 この開発事業は総額でいくらか、町の負担はいくらか、維持管理費はいくらか伺います。

建設課長 事業費、面整備、基



来年から駅周辺整備事業が始まります

盤整備に12.5億円です。建物については今後概算事業費を算出します。浪江駅舎以外は全て国費です。維持管理費用は建物の実施設設計において算出します。

質問 事業に関する面積、買収面積はいくらか。民間住宅の建設の進め方を伺います。

建設課長 事業区域の面積は約8.4ha、買収面積は約7haです。民間住宅の建設については、事業者ヒアリングを行い、事業者選定に向けて進めていきます。

仲人の奨励と公民館事業等で男女の出会いの場は

質問 子育て世帯への浪江町独自の支援策を伺います。

教育次長 出産祝い金として第1、2子の場合5万円、第3子以降は20万円を支給しています。町内賃貸住宅に住まいの子育て世帯へ、3万円を上限に2分の1を家賃補助します。にじいろ保育園及び創成小中での給食費の支援、創成小、中学校学用品費などの支給支援をしています。

質問 公民館活動で男女の出会いの場をつくれなにか伺います。

教育次長 震災後はなかなかできませんでしたが、若者が集える機会の創出を検討していきます。



● 佐々木勇治 議員 ●

Q

前町長、前々町長は「どこにいても浪江町民」との考えでしたが、現町長の考えはその思いを引き継いでいくのか、また違う思いなのかをお伺いします

A

私も同様、「どこにいても浪江町民」という考えですが、その考え方と一緒に、避難先の町民が避難先住民と共生・協働することも大切な事だと思っております

双葉郡の今後について

質問 浪江町の復興はまだまだ道半ばではありますが、現況を踏まえて、双葉郡内の合併についてどのような見解なのかお伺いします。

町長 今後、次世代まで町の行政がしっかりと継続していくためにも、合併についての議論は大切なことではありますが、双葉郡内の町村の復興状況には差異があり、このような状況で合併の議論をするのは、いささか早いのではないかと思っております。

しかるべき時期にこの合併については議論がなされるものと思っております。

安心・安全のための放射線

質問 屋内アスレチック施設は、遊具がすごいと評判も良いので、乳幼児を連れての多くの方が来客しています。敷地内にモニタリングポストがあるの承知していますが、

「遊具を含め室内も安心・安全ですよ」との意味も込めて、月に数回でも良いので線量を測定し、安全の確認をするべきではないかと感じますが、実行出来るかお伺いします。

教育次長 この施設は、多くのお子様とご家族にご来館いただいている施設でもございますので、今後は定期的に館内の線量測定を実施し、周知するか、もしくは屋内線量計を設置するなどを検討してまいりたいと思います。

事故防止のために

質問 浪江にいろいろなことも園前の一里壇大町線は、工事が完了し、道路が拡幅され、車の通行量が増加していることから、キッズゾーンの設置を検討するとされていましたが、検討の結果がどうなったのかお伺いします。

建設課長 キッズゾーンの設置については、現在、町の計画案を福島県警に提示しまして、事前協議の段階でございます。



新しく張り替えられた標識

今後、警察との協議を重ね、本申請、回答、設置になると考えております。

質問 幾世橋住宅団地内にある一時停止の標識は、現在は何力所に設置してあるかご存じでしょうか。また、文字が若干薄くなってきたり、点検など行っているようには見えませんが、管理はどのような頻度で、どのように行っているのかお伺いします。

住宅水道課長 現在1か所に設置してございます。一時停止表示の色あせが顕著であったために、8月中旬に新しい表示に張り替えさせていただきます。

しております。今後の管理につきましては、毎月、職員が幾世橋住宅団地に向向しておりますので、劣化等の不具合を確認した場合には適切に対応させていただきます。



● 佐々木 茂 議員 ●

Q 浪江駅の東西の発展と乗客の利便性を考えて駅の橋上化を計画推進する考えはありますか

A 駅周辺整備事業の中で、駅舎の整備について、JR東日本と協議しています。費用負担の観点から慎重に進めていきます

農地利用について

質問 第一種農地、農業振興地域に太陽光パネルが設置されていますが、どのような経緯で設置が許可されましたか。

農林水産課長 帰還困難区域にあることや、帰還困難区域に囲まれており、復興組合の設立もままならず営農再開事業に取り組む体制ができませんでした。行政区の合意形成を受け、事業計画を町が受け入れたことから太陽光パネルの設置を復興整備計画に位置付け、復興整備協議会に諮り許可されました。

質問 農用地の用途変更について伺います。

農林水産課長 農用地区内においては農地転用が原則できないと規定されています。復興を円滑に推進するため東日本大震災復興特別区域法により、農用地区域内であっても特例的に転用が認められたものです。

質問 復興整備計画に農業委員会が果たした役割を伺います。

農業委員会事務局長 特例法では、農地転用や開発許可等、復興整備協議会の同意を得ればワンストップで処理できます。

農地転用については、農業委員会に事前に説明を求めています。太陽光事業終了後の営農再開は、農地転用が恒久転用となります。その後についての議論はできて

いません。

質問 太陽光パネルの劣化によって廃棄物となった場合の取扱いや処分方法について伺います。

農業委員会事務局長 令和4年4月より改正再エネ特措法施行規則に基づき、

10kW以上の発電事業者は、売電費用から廃棄物費用の積み立てが義務化されております。

質問 大柿ダムの償還が終わりますが、農業用水の受益者面積の維持はどのように考えていますか。

農林水産課長 太陽光発電施設や産業団地整備のため受益者面積は減少しています。転用する場合、地区除外申請と併せて転用決裁金を徴収し均衡を図っています。土地利用と



太陽光発電施設

受益者面積計画の変更は容易ではありません。

環境ホルモン及び農薬について

質問 環境ホルモンと農薬について、資料収集や検討をしていますか。生態系に大きな影響を及ぼすネオニコチノイド系農薬は、当町で使用されていますか。

農林水産課長 環境ホルモンについて資料の収集や検討は行っていません。ネオニコチノイド系の農薬は、当町で使用が確認されています。生態系への影響が出ないよう、県農業普及所やJAにより適正な指導管理を指導しています。

猿害について

質問 猿害について、今年の駆除目標を伺います。

農林水産課長 今年度の捕獲目標は50頭を計画しています。

● 小澤 英之 議員 ●



Q 企業誘致の推進にどのように取り組んでいくのか

A 積極的に企業にアプローチする
トップセールスで進めてまいります

質問 若い世代の人口を増やしていくためには、企業誘致により魅力ある雇用の場をつくっていくことが極めて重要であると考えますが、企業誘致の推進にどのように取り組んでいくのか伺います。

町長 浪江町を担う若い世代に関心を持ってもらうことが重要であり、企業誘致は、様々な施策の中でも重要なもの一つです。

町発展にとって、それを成し得る企業誘致は重要な取組でありますので、国、県、町からの各種補助制度や税制優遇に加え、立地及び操業への支援を、各課横断で行っていかねければならないと思っております。

選挙について

質問 復興住宅における投票についての検討内容について伺います。

選挙管理委員会書記長 復興公営住宅の集会所を投票所として利用することを検討しましたが、浪江町民以外の方も多く入

居している状況から、これを浪江町単独の投票所として確保するのは難しいこと、駐車スペースの確保が難しいことなどから、現在の投票方法になっております。

また、投票所への臨時往復バス等の運行も検討しましたが、復興公営住宅は県内各地に多数あり、移動手段の確保が難しく、過去の利用実績も少なかったことから、避難先の市町村で投票ができる不在者投票制度の利用を推進してきました。

しかしながら、復興公営住宅には高齢者の方も多く、移動自体が負担となる方も多いことから、投票機会を確保するための手段として、移動投票所の設置も有効と考えており、導入の方向で検討します。

特定復興再生拠点区域における町道の整備について

質問 道路、側溝の現状についてどの程度把握しているか、整備計画は作成しているか伺います。

建設課長 住民の方からのご要望、ご連絡があった箇所や、パトロールにより道路の損傷が確認された箇所については、調査、確認をして対応をしております。

また、整備計画は特に策定をしておりませんが、該当箇所のリスト化をして、計画的に対応をしております。

質問 道路のパトロールについてはどのように実施しているか伺います。

建設課長 町内全域を6ブロックに分けて、2週間に一度定期パトロールを実施しております。その中で、帰還困難区域内のパトロールも実施しています。

花きの産地化に向けた取組について

質問 花き農家を増やすため、就農希望者の受入れ体制、支援策は現在どのようなになって



トルコギキョウの生産状況

いるか伺います。

農林水産課長 新規就農者の受入れ体制については、研修機関として認定を受けた町内の、法人において、長期的な研修のほか、短期的な農業体験なども受け入れていただいております。次に、支援策については、国、県による新規就農者への支援制度に加え、町独自の農業担い手確保事業を創設し、収入補填、家賃補助の支援を行っております。



● 渡邊 泰彦 議員 ●

Q 国際研究機構を浪江町に取り込むためには

A 円滑な企業の立地に向け、国・県と連携をしながら取り組みます

浪江町復興計画について

質問 令和3年3月に策定された、浪江町復興計画（第3次）の目的である「持続可能なまちづくり」を目指すための最重要課題をお尋ねします。

町長 「持続可能なまちづくり」のためには、夢と希望があふれ住んでみたいまち、という復興の理念を掲げ進んでいくことが必要であります。加えて、行政が持続可能にするには、財政の健全化を持続し、堅持していくことも重要であります。

質問 復興計画の中で、将来の目標人口として、令和17年度までに8000人を目標すと掲げています。目標を達成するために、どのような施策で定住人口を増加させるのかをお尋ねします。



福島国際研究機構立地予定地

企画財政課長 目標としている8000人の人口達成のためには、浪江町に帰還していただくように、震災前のふるさとを再生させる取り組みとともに、新たな住民を増やす交流人口の拡大、移住施策等の取り組みの両輪で進めていくことが必要と考えています。

復興牧場について

質問 浪江町復興牧場は、令和6年度に完成し、令和7年度当初から乳牛が導入される予定ですが、雇用関係について、浪江町出身の学生の方や浪江町の若い方々が、インターン・Uターンとして戻ってきていただくような情報提供や施策をとっているのかをお尋ねします。

農林水産課長 雇用に関しては、震災により畜産経営を断念した地元の畜産農家を含めて、25〜30名の通年雇用を予定しています。また、浪江町出身の方々には就職先として検討していただきたいと考えており、県の酪農業協同組合と連携しながら、就職に関わる情報も発信してまいります。

功が不可欠です。現在の誘致状況と、今後の展開についてお尋ねします。

産業振興課長 ①藤橋産業団地については、6区画のうち4区画が立地済みで、残り2区画も調整中です。②北産業団地については、3区画のうち1区画が立地済みで、残りのうち1区画が立地の準備を進めており、もう1区画は調整中です。③南産業団地については、全体で11区画で、3区画は立地済みで、残りのうち2区画は地元企業で決定していますが、残りの5区画は空いています。④棚塩産業団地については、東北電力が原子力発電所用地として決定していたうちの、48・6haを使用しています。土地の形状でフラットな部分は立地済みですが、低い部分とか狐塚古墳周辺はまだ決まっていません。今後とも、なるべく雇用がいっぱい見込める企業を狙って、誘致活動してまいります。

産業団地について

質問 目標人口8000人の持続可能な浪江町をつくるためには、町で整備している4地区の産業団地への企業誘致の成



● 武藤 晴男 議員 ●

Q

帰還困難区域を対象とした避難解除に向けた町の説明会・懇談会を今後開催する計画はありますか

A

除染検証委員会から報告をいただいた後に、議会及び住民の皆様へご説明をする機会を考えております

特定復興再生拠点区域の町の復興・再生について

質問 津島地区復興拠点のインフラ整備について伺います。

企画財政課長 電気、ガスは民間事業者へ住民の方が直接、井戸水は町へ申し込み、事件事故の対応は将来的に津島駐在所の活用を検討しています。緊急医療は浪江消防署及び葛尾出張所が対応をいたします。また、日常の買物環境等につきましては、今後、国・県など関係機関と協力しながら復興再生を進めて行きます。

質問 つしま活性化センター西側に計画されている福島再生賃貸住宅の進捗状況と「ほのぼの市」建物の活用方法について伺います。

住宅水道課長 7月から造成工事を実施中であり、予定では10月から建築工事が始まる予定です。

津島支所長 「ほのぼの市」建物の活用方法は未定ですが、

今後関係部門と協議を行いながら検討してまいります。

質問 原発事故・震災遺構の建設予定はありますかお尋ねします。

教育次長 原発事故・震災遺構の整備については、震災直後の当時の様子をうかがえる資料や写真など、原子力災害を風化させないための資料の収集、展示は必要と考えておりますが、建物そのものを遺構として整備することについては予定をしておりません。

特定復興再生拠点区域外の町の復興・再生について

質問 外縁部除染範囲について伺います。

企画財政課長 除染範囲は全ての町道も含め、生活環境の放射線量を着実に低減し、住民の安全・安心に万全を期すために十分に地元自治体と協議・検討して、引き続き国に求めています。

質問 一時帰宅時の進入路整備について伺います。

建設課長 パトロールや住民の方等による連絡等により現場を確認して、整備をしていきます。また、覆いかぶさる樹木に関しては、可能な範囲で樹木の所有者に連絡を取った上で枝払い等を行い、通行に支障がでないように努めてまいります。

質問 帰還意向確認の時期・手法・スケジュールについて伺います。

企画財政課長 帰還意向確認記載内容・スケジュール等が詳細に決まりましたら議会・行政区长へご報告させていただきます。今秋頃に意向確認書を各世帯に送付します。

質問 一時立入り制限の規制緩和後の防災、警備について伺います。

総務課長 防犯見守り隊や警備会社による巡回を行いますとともに、町境の未設置箇所への防犯カメラの増設も行っておりまして、今後もこれらの対策を継続していきたいと思っております。

ます。

原発賠償基準見直しについて

質問 今年3月の最高裁判決で（中間指針）の見直しの報道があったが、原発賠償基準見直しを町として要望をしておりますかお尋ねします。

町長 4月に原子力損害対策協議会として緊急要望をしました。今月中旬にも再度要望活動を行う予定です。自治体単独で行うよりオール福島や被災自治体等が一丸となって要望することがより効果的だと考えております。今後も、このような機会を捉え、適時適切に対応してまいります。

● 総務常任委員会 ●



委員長 渡邊 泰彦
副委員長 小澤 英之
委員 高野 武
松田 孝司
佐々木恵寿

総務課、企画財政課、住民課、津島支所、出納室が所管する案件を審議しています。

■住民課■ 帰還困難区域内における ごみの収集について

問 帰還困難区域内（特定復興再生拠点区域及び拠点区域外）におけるごみの収集はどのようになっているか。

答 ごみの収集は環境省において実施しています。区域内のごみステーション又は環境省による個別回収コールセンター（電話：0120-830-234）にて回収依頼することができます。

■総務課■ バリケードについて

問 特定復興再生拠点区域において、9月1日より準備宿泊が開始され、立ち入り規制が緩和されたことに伴い、バリケードが解放されました。バリケードの取り扱いはどうなるか。

答 バリケードについては、すべて撤去となります。期間としては、1か月程度要する見込みです。

■住民課■ マイナンバーカードに ついて

問 マイナンバーカードの取得率はどのような状況ですか。

答 申請は44.04%となっておりますが、取得率としては、37.21%です。全国平均では45%程度であることから、取得率向上に向けて更なる広報に努めていきます。

■総務課■ 町長への手紙に ついて

問 令和3年11月から実施しておりますが、意見等の主な内容はどのようなものか。

答 意見・要望は30件となっております。主な内容は、固定資産税や医療費免除の継続要請や帰還困難区域の早期除染と解除等となっております。なお、改善を図りながら充実した制度としていきます。

■企画財政課■ まちあるきマップに ついて

問 まちあるきマップの作成が計画されているがどのようなものか。

答 地域おこし協力隊の活動の一つとして、移住者や町内に来られた方々が町の様子が分かるようにイラストなどを使ったマップを作成する計画です。

■企画財政課■ 移住者・定住者について

問 移住定住についての各種施策が行われておりますが、実績はどのようになっているか。

答 令和3年度については、県外から40世帯、42名の方々が移住しました。また、本年4月～6月の3か月では、33名であり内訳は、県外から17名、県内16名の方々が移住されております。

■企画財政課■ ふるさと納税について

問 令和3年度のふるさと納税の実績は。

答 実績については、次のとおりです。

区分	令和3年度	令和2年度
個人	1033件 2856万8500円	960件 2925万円
法人	9件 750万円	1件 100万円

● 産業・建設常任委員会 ●

産業振興課、農林水産課、住宅水道課、建設課、農業委員会が所管する案件を審議しています。

委員長 紺野 則夫
副委員長 武藤 晴男
委員 紺野 豊
山本幸一郎
山崎 博文



■ 住宅水道課 ■

小野田取水場・小野田配水場の整備について

問 整備の概要は。

答 小野田取水場改良工事は既存施設の改良工事になります。主に、集水とボーリング工事となり工期は15か月を予定しています。小野田配水場工事は改築工事になり、場所は、双葉町渋川地内にて容量3300m³の配水池を新設します。工期は16か月を予定しています。

■ 建設課 ■

町内インフラ整備工事について

問 令和4年度の事業経過は。

答 丈六公園整備工事（その2）を実施中です。また、菅原橋の橋梁復旧工事下部工は再開準備中です。なお、浪江駅周辺整備事業は、令和4年度基盤整備実施設計・公営住宅基本設計中です。

■ 農林水産課 ■

事業の進捗状況について

問 掃部関用水路一部閉塞に係る状況は。

答 土地改良区が設置したポンプ1台を北幾世橋地区へ移設し、国による隧道内の調査業務が開始予定です。令和4年度内の復旧工事を目指すかと伺っています。

問 令和5年度農業用水路の通水見通しは。

答 末森用水路・大堀用水路・青根場用水路・請戸用水路の4つの用水路で通水を開始する予定です。

問 ため池ハザードマップの公表は。

答 浪江町ため池ハザードマップは、町ホームページで公表しています。閲覧方法は浪江町トップページから防災・安全⇒ため池ハザードマップと検索してください。

■ 産業振興課 ■

福島いこいの村なみえの宿泊料金の改定について

問 具体的な改定内容は。

答 コロナ禍による利用者減少と、物価等の上昇で経費の増加及び提供サービスと基本経営の見直しのため、令和4年9月1日受付分から改定となっております。



いこいの村の水素風呂

● 文教・厚生常任委員会 ●



委員長 佐々木勇治
副委員長 吉田 邦弘
委員 半谷 正夫
佐々木 茂
平本 佳司
紺野 榮重

教育委員会、健康保険課、介護福祉課、浪江診療所、仮設津島診療所が所管する案件を審議しています。

■ 介護福祉課 ■ ふれあい福祉センターの 利用状況について

問 ふれあい福祉センターのデイサービスの利用状況は。

答 今年の7月5日より事業を開始し、利用状況は下記のとおりです。

月	7月	8月
利用者数 (延べ人数)	44人	102人



ふれあいデイサービスが開所となりました

■ 介護福祉課 ■ 避難先の交流館の 利用状況について

問 各交流館の利用者数が昨年度よりも減少しているが原因は把握しているか。

答 昨年度は新型コロナウイルス感染症防止対策「まん延防止等重点措置」の期間が長かったため、交流館の閉鎖期間もそれに比例して長くなったためです。

■ 浪江診療所・仮設津島診療所 ■ 調剤薬局について

問 町内に調剤薬局が無いことが問題になっているが、今は浪江診療所で院内処方をしている。調剤薬局が無いことのデメリットは何か。

答 院内処方では診療所に準備している薬しか処方できないため、多様な薬が必要になった時には町外の調剤薬局まで行ってもらうしかない状況です。また、複数箇所でも処方されることにより、薬の飲み合わせの危険性も懸念されるところです。

■ 教育委員会 ■ なみえ創成小・中学校 制服支給事業について

問 町オリジナルの子育て支援事業をもっと町内外にPRして利用してもらうとともに、移住定住のPRとしても担当課と周知に努めるべきではないか。

答 他の子育て支援施策とともに一覧にして周知しております。また、移住定住促進の担当課とも情報を共有しており、周知に努めているところです。

■ 教育委員会 ■ 浪江町の通学バスの 安全性について

問 全国で通園バスや通学バスでの子どもが取り残される事故が問題になっていますが、浪江町の通学バスの安全性は。

答 浪江町では認定こども園の通園バスは運行しておらず、小中学校の通学バスのみを運行しておりますが、校門に立っている先生と運転手で確認作業を行っておりますので、取り残される等の事故はありません。

■ 教育委員会 ■ 来年度の入園・入学の 問合せの状況について

問 来年度の町内の認定こども園や創成小・中学校の入園、入学の問合せ状況はどの程度来ているのか。

答 認定こども園、創成小・中とも問合せが来ております。こども園については今年度内に40名に達する見込みです。また、小中学校では双葉町からの通学希望もあるなど、想定よりも多くの問合せを頂戴しております。

佐々木恵寿議員の議員辞職に伴い、令和4年10月11日に第4回臨時会を開催し、新たに平本佳司議員を議長として選出しました。

町民の皆さまが
希望と誇りを持てる町に



平本 佳司

このたび令和4年浪江町議会第4回臨時会において、議長となりました平本佳司です。これまでの議員としての経験を活かし議長の職を務め、浪江町の復興と再生に向け、気を引き締め、緊張感を持って取り組んでまいります。

さて、皆さまご承知のとおり、幸いにも、9月に国が、福島国際研究教育機構の立地を当町に決定しました。

この福島国際研究教育機構は、国の科学技術力・産業競争力の強化を牽引し、経済成長や国民生活の向上に貢献する、世界に冠たる「創造的復興の中心拠点」となることを目指し、設立するものです。

今後は、私も議会も国や県と協議する機会も多くなると思われますが、議会の大きな使命の一つである、行政の監視機能を十分に発揮し、福島国際研究教育機構が、より良い機関となり、浪江町が、町民の皆さまの大きな希望と誇りとなることを目指していきたいと考えております。

議会活動の経過報告 7月11日～10月12日

(定例会及び臨時会中の全員協議会・各委員会を除く)

7月

- 21日 • 双葉地方町村議会議長会要望活動 (仙台市)
- 26日 • 議会運営委員会
- 28日 • 産業・建設常任委員会
- 29日 • 県町村議会議長会正副会長会及び理事・監事合同会議及び要望活動 (福島市)

8月

- 1日 • 第3回臨時会 ※1
• 全員協議会
• 議員定数調査特別委員会
- 5日 • 双葉地方町村議会議長会要望活動 (福島市)
- 10日 • 議会運営委員会
- 13日 • 浪江町野球部長杯野球大会
- 16日 • 双葉地方広域市町村圏組合議会保健衛生常任委員会 (富岡町)
- 17日 • 双葉地方広域市町村圏組合議会消防厚生常任委員会 (富岡町)
• 双葉地域における中核的病院のあり方検討会議 (福島市)
- 18日 • 双葉地方広域市町村圏組合議会総務常任委員会 (富岡町)
- 19日 • 全員協議会
- 23日 • 町村議会正副議長・事務局長研修会
- 24日 • 県町村議会議長会要望活動 (東京都)

- 26日 • 双葉地方広域市町村圏組合議会定例会 (富岡町)

- 31日 • 議会運営委員会

9月

- 3日 • ランカスター市長団来町歓迎レセプション
- 6日 • 9月定例会 (～13日) ※1
- 7日 • 議員定数調査特別委員会
• 議会報編集特別委員会
- 17日 • 双葉地方復興記念還暦軟式野球大会 (広野町)
- 25日 • 浪江町立学校閉校式
- 26日 • 全員協議会
• 産業・建設常任委員会
• 議員研修
- 30日 • 議会報編集特別委員会

10月

- 4日 • かもめミライ水産株式会社立地協定締結式
- 6日 • 議会運営委員会
- 7日 • 議会報編集特別委員会
- 11日 • 第4回臨時会 ※1
• 全員協議会
- 12日 • 議会報編集特別委員会

※1 本会議の出欠状況は、町ホームページ(浪江町議会→会議結果一覧)をご覧ください。



請願・陳情ができます。

町政についての自分たちの意思や要望を、直接文書で町議会へ提出できます。請願は、議員の紹介を必要としますが、陳情は必要ありません。提出方法については、議会事務局までお問合せください。(TEL0240-34-0254)

政務活動費支出状況（令和3年度分）

政務活動費とは、議員が実施する調査研究、研修、各種会議への参加などにより、町政の課題及び町民の意思を把握し、町政に反映させる活動や住民福祉の増進を図るために必要な活動（政務活動）に要する経費に対して、申請により議員個人に交付されるものです。

交付基準は、次のとおりです。

1. 交付額1月当たり 5,000円
2. 政務活動費を充てることができる経費の範囲は、下の表のとおりです。

経 費	内 容
調 査 研 究 費	議員が行う町の事務、地方行財政等に関する調査研究（視察を含む）及び調査委託に要する経費
研 修 費	1 議員が行う研修会、講演会等の実施（共同開催を含む）に要する経費 2 団体等が開催する研修会（視察を含む）、講演会等への議員及び議員の雇用する職員の参加に要する経費
広 報 ・ 広 聴 費	議員が行う活動の広報・広聴活動に要する経費
要請陳情等活動費	議員が行う要請陳情活動、住民相談等の活動に要する経費
会 議 費	1 議員が行う各種会議、住民相談会等に要する経費 2 団体等が開催する意見交換会等各種会議への議員の参加に要する経費
資 料 作 成 費	議員が行う活動に必要な資料を作成するために要する経費
資 料 購 入 費	議員が行う活動のために必要な図書、資料等の購入、利用等に要する経費
事 務 費	議員が行う活動に係る事務の遂行に要する経費
人 件 費	議員が行う活動を補助する職員を雇用する経費

3. 支出内訳

議 員 名	武藤晴男	紺野 豊	吉田邦弘	佐々木恵寿	小澤英之	半谷正夫	紺野則夫	佐々木茂
交 付 額	0	55,000	0	60,000	0	0	55,000	0
支 出 額	調 査 研 究 費			66,322				
	研 修 費							
	広 報 ・ 広 聴 費							
	要請陳情等活動費							
	会 議 費							
	資 料 作 成 費							
	資 料 購 入 費							
	事 務 費							
	人 件 費							
合 計		0		66,322				
精 算（返 金）額		55,000		0			55,000	

議 員 名	山本幸一郎	高野 武	渡邊泰彦	松田孝司	平本佳司	佐々木勇治	山崎博文	紺野榮重
交 付 額	0	0	55,000	0	0	60,000	0	60,000
支 出 額	調 査 研 究 費							
	研 修 費							
	広 報 ・ 広 聴 費			70,434		46,346		80,168
	要請陳情等活動費							
	会 議 費							
	資 料 作 成 費							6,000
	資 料 購 入 費							
	事 務 費							
	人 件 費							
合 計			70,434			46,346		86,168
精 算（返 金）額			0			13,654		0

※支出額が交付額に満たない議員については、精算額として返金済です。

※令和3年4月30日任期満了につき、交付額に差異が生じております。

町民の声



田村 智則さん(井手)
石倉団地(二本松市)在住

未だに手つかずの我が行政区

原発事故から11年と6か月過ぎて、漸く準備宿泊が出来るようになった行政区がある中、井手行政区は未だに手つかずの状態である。

先日開催された国の説明会では、帰りたい人がおればその宅地と使用する道路を除染します。昨年の説明会とほぼ同じであるが、今回は地図上での除染箇所を特定する等少しずつではあるが先が見え始める。しかし、これまでに解除され

た地域も含めて安全とは言い切れない。

何故なら時々報じられる放射能が検出された食材が出ていることや、避難指示解除時の放射線量より高くなっている場所、公表はされていないが少なくとも

過去は過去、此れからの我が行政区を如何に復興させるかが大きな課題となっている。

事故当時自分は福島第一原子力発電所4号機で放射線管理業務を担当しており、最大の危機感を感じたのだ。幸い我が家は犠牲とはならず一夜を過ごすも、翌日避難命令。

原発の安全性を信じていたが、まさかの事故。避難生活が始まり様々なアンケートや意向調査は、30年は帰れないと思いついてきたが、現在は還暦を迎え極楽浄土が近くなったせいか、無性に帰りたくなっている。

そこで、帰還に向けた除染を道路と宅地だけ等と言わずに、自給自足ができる農地と山林の除染を強く望む。

また、避難場所の問題だが、現在200世帯の県営住宅で170人収容の集会所が、他の施設の流用により30人程度で満員となる為、総会などを開催する際は、二本松市の公民館を借用し実施している。当然流用している施設が必要な事は理解できるが、避難者の健康増進などの為にも、正規の集会所として戴きたい。

さらには、これほどの入居者に対し、AEDの設置もされておらず、緊急時の対応が出来ないため、メンテナン스も含めた設置をお願いしたい。

「町民の声」に掲載する 原稿を募集しています。

議会に対するご意見、要望、感想等をお寄せいただける方は、浪江町議会事務局(☎0240-34-0254)または、議会報編集特別委員にご連絡ください。

編集後記

原子力災害から12年、町の復旧復興も徐々に進んでいますが、古里の荒廃は更に進んでいるように思われます。新型コロナウイルスの長期流行もあり、楽しい時を過ごしたという実感はありませんでした。

福島国際研究教育機構の当町への立地が決まり、町の発展へ向けての素地が作られました。

「ふるさととは遠きにありて思うもの」であるかどうかは個人の判断だと思いますが、土地の管理など悩ましい一面もあると思います。それでも、昔の生活基盤であった浪江町を訪ねてほしいものです。

健康に留意され、来年こそは良き年であるように願っております。(佐々木)

発行責任者

議長 平本佳司

議会報編集特別委員会

委員長 高野 武

副委員長 紺野 武豊

委員 藤 晴邦

武 男弘之茂

吉 田 英

小 澤 英

佐々木 茂

